

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		井上 講四	所 属	教育学部 生涯教育課程	職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.10	・昨年度から学部長を拝命し、大人数の授業を、非常勤講師等で代替してもらっている。ただし、ゼミ指導及び、前期の「社会教育実習」、後期の「学社融合と学びの共同体づくり」は、代替できるスタッフが見つからず、その責任を担うことにしている。ゼミ学生の学習意欲を高める工夫をさらに行うとともに、各ゼミ生の修論・卒論作成に向けてのさらなる効果的な指導を心掛ける。		0.10	一応、当初の目標は達成できた。	
研究	0.10	・所属学会・各種研究会等への参加及び自主開催を行うとともに、今後の研究課題等を明確にしていく。 ・上記を踏まえての研究成果を、学会誌等に投稿する。		0.10	一応、当初の目標は達成できた。	
社会貢献	0.10	・今年度も引き続き、沖縄県教育委員会の「学校支援地域本部事業」、浦添市の「てだこ市民大学」等の実施・運営に、委員(長)・講師として参画・協力する。		0.10	新たな活動もでき、予想以上に達成できたと考えている。	
管理運営	0.60	・昨年度より学部長を拝命することになり、教室・講座等の管理運営的な職務は直接的には行えないが、今年度も、全学的・学部全体的な管理運営を鋭意遂行する。課題も多いので、精一杯頑張りたい。		0.60	多少後悔するべきところもあるが、全体としては、達成できたと考える。	
進路指導	0.10	・今年度は、ゼミ生が全体としては二人減ったが、院2年次1名、学部4年次4名、3年次4名のゼミ生に対して、引き続き進路選択あるいは就職に対して、可能な限りの支援を行う。		0.10	多少後悔するべきところもあるが、全体としては、達成できたと考える。	
	0.00					
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		佐久間 正夫	所 属		教育学部 学校教育教員養成過程	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.30	教職専門科目である「教育原理」「教育行政学」「教育法」(以上、学部)の授業では、教職課程で学ぶ学生に、教育の基礎理論を伝えることを主要な目標とし、授業の改善をめざす。また、大学院の「教育行政学特論」「教育行政学特論演習」などにおいては、研究という側面を重視しつつ、上記のねらいの達成もめざす。			0.30	・・・授業テーマに関する独自の資料準備を行なうことができた(どの授業も、No.1～No.70程度)。大学院の授業では、研究面を重視した資料作成や授業構成に努め、例えば、自らの研究成果である、2006年教育基本法の問題点、宮古教育基本法や八重山教育基本法、奄美教育基本法の成立事情、八重山の教科書採択問題などを盛り込むことができた。		
研究	0.35	これまで行なってきた、戦前や戦後占領初期の宮古・八重山・奄美、そして、沖縄本島における教育改革に関する基礎的な資料調査・収集・聞き取り調査結果をまとめる。本年は、宮古の戦前の皇民化教育の実態について、『学部紀要』(前期)に発表する。また、2011年に起きた、八重山の教科書採択問題について、教育法的な検討を行なった論者を『学部紀要』(後期)にまとめる。教職課程で学ぶ学生の体罰に関する意識についての研究を、『実践センター紀要』にまとめる。			0.35	・・・『学部紀要』第83集に、研究論文「琉球大学の教職課程で学ぶ学生の『1947年教育基本法』に対する意識について—2006年度後学期『教育法』の授業実践をとおして—」を掲載した。また、『教育実践総合センター紀要』第21号には、「琉球大学の教職課程で学ぶ学生の『体罰』に関する意識について(2)」と題する研究論文を投稿した。		
社会貢献	0.20	教員免許状更新講習の講師を務める(8/12,13:教育の最新事情)。また、沖縄県私立学校審議会委員として、審議会に出席し、その職責を果たす。これまでと同様、県内の諸機関・団体から講演等の依頼があれば、応じる。			0.20	・・・教員免許状更新講習の講師を務めた(8/12,13:教育の最新事情)。沖縄県私立学校審議会委員を務めているが、2012年度第1回審議会(9月13日〔金〕)に出席した。沖縄タイムス社より、八重山の教科書採択問題などについて意見を求められ、コメントを行なった(例えば、2013年10月19日付『沖縄タイムス』)。		
管理運営	0.10	学部では、教室主任(旧教育学教室、教育学講座)、子ども地域教育教室の入試委員及び、3年次の指導教員を務める。全学の委員会関係では、教員養成運営委員会の委員に選出されている。それぞれの委員会の会議出席を初めとして、個々の委員会の仕事を確実に遂行する。			0.10	・・・旧教育学教室の主任を務めた。学部代議員会に出席した。子ども地域教育教室3年次の指導教員を務め、学生の履修指導を初め、種々の連絡及び指導を行なった。		
進路指導	0.05	子ども地域教育教室3年次生の指導教員を務めるので、年次別懇談会を中心に、特に教員採用試験等に関わる情報提供などを行なっていく			0.05	・・・子ども地域教育コース年次別懇談会を中心に、特に教員採用試験等に関わる情報提供などを行なった。		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		上間 陽子	所 属		教育学部 生涯教育課程	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.4	ゼミ生への指導ならびに指導教員である4年次の指導を行う。キャリア教育相談、ゼミ相談、卒業論文の相談がメインになるかと思われる。また教育実習員を行っている関係から教職免許科目の履修指導並びに実習指導を実施する。			0.35	左記通り実施した。		
研究	0.4	①科研若手Bならびに②基盤Aの調査研究に関しては次のことを実施。①日本教育社会学会発表ならびに『教科研 講座4巻』に執筆、貧困調査の学校調査のデータ並びに分析結果を紀要原稿に執筆、②日本教育学会発表ならびに最終報告書執筆ならびに作成。			0.40	左記通り実施した。その他『高校生活指導』196号に実践分析並びに197号にブックレビュー、『教科研 講座6巻』へコラムを寄稿した。なお左記の実施は科研若手Bならびに科研基盤Aの最終年度成果としては十分だと思われる。		
社会貢献	0.15	珊瑚舎スコーレへのボランティア並びにフィールドワークを行う。			0.20	左記通り実施したほか、乳児院へのボランティア並びに県内新聞/マスコミへの取材を受けるなどした。		
管理運営	0.05	ハラスメント委員、教育実習委員、指導教員を担当。			0.05	左記通り実施した他、学内科研アドバイザー就任。		
進路指導	0.00	教育欄を参照。			0.00	左記通り実施した。		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		高橋 美奈子		所 属		教育学部 生涯教育課程		職 名		准教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果				
教育	0.30	担当している授業科目についてはシラバスに沿って授業を実施するよう努める。また、学生から積極的に授業改善への意見を聴取する機会を設け、講義のより一層の改善改良を図る。卒論指導については、卒論指導学生が2コースにまたがるため、各自の必要性に応じてゼミ以外の時間も適宜行う。				0.30	担当している授業科目についてはシラバスに沿って授業を実施した。また、学生から積極的に授業改善への意見を聴取する機会を設け、講義のより一層の改善改良を図った。卒論指導については、卒論指導学生が2コースにまたがるため、各自の必要性に応じてゼミ以外の時間も適宜行った。				
研究	0.40	今年度から3年間にわたり、科研費が採択されたので、研究課題「沖縄県における自然談話の分析研究」の代表者として課題を遂行する。また、一昨年度から取り組んでいる学外教育機関との共同研究「現代日本語の話しことばコーパスの作成」も引き続き行い、コーパスの完成を目指す。さらに、昨年度から行っている、大学日本語教員養成協議会の事務局としての任務も遂行する。				0.40	科研費で採択されている研究課題については、今年度の研究計画通りに実行し、論文と研究発表の形で公表できた。また、一昨年度から取り組んでいる学外教育機関との共同研究も予定通り進んでおり、来年度にはコーパスが完成する予定である。さらに、昨年度から行っている、大学日本語教員養成協議会の事務局としての任務も遂行した。				
社会貢献	0.05	昨年度に引き続き、沖縄県在住外国人のための日本語教育推進事業「日本語ボランティア」育成講座の講師を務める。また、教員免許認定講習の講師も務める。NPO法人「アメリジアンスクール」での授業や教材の活用を実施する。				0.05	昨年度に引き続き、沖縄県在住外国人のための日本語教育推進事業「日本語ボランティア」育成講座の講師を務めた。また、教員免許認定講習の講師も務めた。NPO法人「アメリジアンスクール」での授業や教材の活用を実施した。				
管理運営	0.20	「子ども地域教育コース」では、2年次指導教員を務め、旧組織の「日本語教育コース」では、コース主任ならびに4年次指導教員を務める。その他、入試業務に関わる委員会等を務める。				0.20	「子ども地域教育コース」では、2年次指導教員を務め、旧組織の「日本語教育コース」では、コース主任ならびに4年次指導教員を務めた。その他、入試業務に関わる委員会等を務めた。				
進路指導	0.05	指導年次学生およびゼミ生に対しては、必要に応じ、積極的に進路相談のためのオフィスパワーを開放する。また、年次懇談会を適宜開催し、就職、教職免許・資格関連等の情報提供を行う。さらに、年次のメーリングリストを活用し、就職・免許関連情報の提供ができるよう配慮する。				0.05	指導年次学生およびゼミ生に対しては、必要に応じ、積極的に進路相談・修学相談のためのオフィスパワーを開放した。また、年次懇談会を適宜開催し、就職、教職免許・資格関連等の情報提供を行った。さらに、年次のメーリングリストを活用し、就職・免許関連情報の提供ができるよう配慮した。				
	0.00					0.00					
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		吉田 悦治	所 属	教育学部 生涯教育課程	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.30	多様な教育現場でのフィールドワーク+教育実践を通じた演習授業を展開する。、路地裏楽校WS(那覇市)、一番街商店街WS(沖縄市)離島での子どもワークショップ(座間味)等で創造と逸脱から生まれる学び(教材開発)に取り組む。		0.30	演習授業を通して、路地裏楽校WS(那覇市)、一番街商店街WS(沖縄市)離島での子どもワークショップ(座間味)等の実践に取り組んだ。	
研究	0.30	子どもと地域をつなぐ教育・文化実践の可能性を探求する。主に「うみ」「シマ」をモチーフにした教育・文化実践を通して、「場」から生まれる学びの創造に取り組む。 *「海を活かした教育に関する実践研究」(日本財団)		0.30	「うみ」「シマ」をモチーフにした教育・文化実践の研究として、瀬戸内国際芸術祭のサポートやこれまでの実践についてのアーカイブ作成等に取り組んだ。	
社会貢献	0.20	授業研究会での指導助言、地域における美術・造形教育に関わる支援に取り組む。		0.20	附属小学校での授業研究会において指導助言を行った。また、障害者週間ポスター審査員、障害児学校部 教育研究会の共同研究者として、教育支援に取り組んだ。	
管理運営	0.15	学部教育委員において、教務関係業務が円滑に行われるよう取り組む。		0.15	学部教育委員での業務として、教職実践研究・演習の実施に取り組んだ。	
進路指導	0.05	認定試験の問題作成等に取り組む。		0.05	認定試験の問題作成、教員採用試験対策として指導案作成・模擬授業等の指導に取り組んだ。	
	0.00			0.00		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		中尾 達馬	所 属		教育学部 生涯教育課程	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.30	今までの経験を踏まえて、授業内容をより洗練されたものへと昇華させるべく、授業準備・教材研究を徹底して行いたい。また、3・4年次対象のゼミにおいては、卒業論文執筆や就職支援を念頭においた指導を行ってきたい。			0.30	前学期も後学期も、授業準備・教材研究を徹底的に行った。授業では、毎回、感想を一言以上書いてもらい、双方向的に授業が展開するよう工夫すると共に、これを形成的評価の手段の一つとして活用した。ゼミでは、卒業論文の執筆や就職支援を念頭においた指導を展開した。		
研究	0.35	文科省科研費若手(B)の助成を受け、「発達とアタッチメントから考えるニート・ひきこもりへと至るプロセス」に関する研究を実施する(課題番号: 25750377)。九州心理学会や日本発達心理学で、学会発表を行うと共に、琉球大学教育学部紀要へ論文を寄稿予定である。			0.25	科研費の助成を受けた研究の予備調査を実施すると共に、日本保育学会第66回大会、九州心理学会第74回大会、日本発達心理学第25回大会で、発表を行った。琉球大学教育学部紀要に『沖縄県における社会的ひきこもり支援の現状と課題』に関する論文を寄稿した。		
社会 貢献	0.10	免許状更新講習では、必修講習(教育の最新事情)において、「子どもの変化についての理解」について講義を行う。また、Advisory Staff制度に登録を行い、依頼がある場合には発達心理学的内容の講座等を提供したい。			0.15	教員免許状更新講習必修講習(子どもの変化についての理解)、沖縄県看護教員養成講習会(生涯発達心理学)を担当し、沖縄県高校生の進学ワークショップ、沖縄県産業教育フェア「高校生の進路を考えるフォーラム」、「NPO活動を仕事にするということ」においてパネリストを務めた。		
管理 運営	0.10	教育学部の子ども地域教育コースの3年次指導教員、および、全学の教員養成運営委員会委員、教職課程企画調整ワーキング・グループ委員として、教育学部ならびに生涯教育課程、そして子ども地域教育教室のために、尽力したいと思う。			0.15	3年次指導教員、全学の教員養成運営委員会委員、教職課程企画調整ワーキング・グループ委員として、教育学部、生涯教育課程、子ども地域教育教室の管理運営に貢献した(教職履修カルテの電子化に関連する全学会議への出席、年次懇談会の開催、一・三研修の引率、など)。		
進路 指導	0.15	子ども地域教育コースの学生だけでなく、進路や就職のことについて相談してきた学生全てに対して、私の今までの経験を伝え、何をどうすればいいのか、職業を中心とした人生設計(キャリア発達)とは何か、について一緒に考えていきたい。			0.15	進路や就職のことについて相談してきた学生に対して、私の今までの経験(現職の先生方だけでなく、保育職や小学校教諭を目指す人と関わってきた経験)を伝え、今何をどうすればいいのか、職業を中心とした人生設計(キャリア発達)とは何か、について助言をした。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		尾方 隆幸	所 属	教育学部 生涯教育課程	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.30	自然地理学関係の講義・演習・実習科目にジオパークの内容を取り入れ、地球科学と学校教育・生涯教育との連携を意識した授業を進める。学生に野外巡検の機会をできるだけ多く提供する。		0.25	自然地理学と学校教育・生涯教育との連携を意識した教育を進めた。野外巡検は、前期は水納島と西表島、後期は辺戸岬と沖縄島南部で実施した。	
研究	0.30	地球科学のアウトリーチの一形態としてジオパークをどのように活用するか、地球科学的遺産の保全と活用の両面において実践的な研究を進め、学術面での体系化を目指す(日本自然保護助成基金「プロ・ナトゥーラ・ファンド」によるプロジェクトも遂行中)。		0.30	地球科学のアウトリーチに関する研究を中心に進め、査読付き論文1篇を投稿したほか、現在2篇の投稿論文(うち1篇は国際ジャーナル)を準備中である。また「プロ・ナトゥーラ・ファンド」の助成を受け、アウトリーチ用の視聴覚教材『美ら島のジオをまもろう』を制作した。	
社会 貢献	0.20	顧問を務める「本部半島ジオパーク推進協議会」において学術的な助言と指導を進める。公開授業「琉球列島地理学概論」「環境地誌」および公開講座「本部半島ジオガイド養成講座」において生涯教育を実践する。		0.25	公開授業・公開講座および「本部半島ジオパーク推進協議会」顧問のほか、「沖縄県地震被害想定調査」検討委員、「粟国村ジオツーリズム推進計画」策定委員長、「多良間村防災行政無線システム整備」検討委員、「沖縄県立博物館・美術館」文化講座講師、「今帰仁グスクを学ぶ会」講師を兼業として務めた。	
管理 運営	0.15	全学の教員養成運営委員、学部の図書紀要委員、学科の学年指導教員としての任務をこなす。全学の総合環境学副専攻のカリキュラム改良に努める。		0.10	全学の教員養成運営委員、学部の図書紀要委員、学科の学年指導教員としての任務をこなした。全学の総合環境学副専攻のカリキュラム改良にはあまり取り組みなかった。	
進路 指導	0.05	学科の学生、特に自然環境・自然地理学ゼミの学生を中心に、自らの専門分野とネットワークを活かした情報を提供する。		0.10	自然環境・自然地理学ゼミの学生に対して、卒業論文指導とともに進路指導を行い、4年次ゼミ生の全員(2名)が就職内定(公務員1、民間企業1)に至った。	
	0.00			0.00		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		田吹 亮一	所 属	教育学部 生涯教育課程	職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.40	担当している大学院、学部の講義については、これまで配布してきた授業内容を記したテキストと資料集のバージョンアップを図る。また、パワーポイントによる授業で使う個々のスライドの内容の向上に務めるとともに、受講生からみて分かりやすいものにする作業を継続する。課題研究を行う大学院生(1年)1名、学部生(4年)1名の指導を行う。		0.40	パワーポイントによる授業を行なっているが、全ての授業について、その内容のバージョンアップを行った。4年次学生1名(自然環境科学教育コース)の卒論と修士課程2年1名(理科教育専修)の修論の指導を行ってきた。ある程度の結果を得たと思う。	
研究	0.30	今年度中に2本の論文の投稿を行い、雑誌に掲載されるようにする。科研費と「宇流麻学術研究助成」に研究費を申請している。		0.30	論文として田吹他の『沖縄島南部・漫湖およびその周辺水域の底生貝形虫群集』を教育学部紀要第84集(2014年3月公刊)に掲載予定である(印刷中)。目標に届かず不十分な結果となった。論文発表には至っていないが、沖縄島南部の知念崎(模式地)に分布する知念層(第四紀層)の層序と堆積環境の研究成果をまとめ、近日中に公表予定である。	
社会貢献	0.15	沖縄県文化財保護審議会専門委員、沖縄県児童生徒科学作品展審査委員等の学外の職務に積極的に対応する。		0.05	沖縄県児童生徒科学作品展審査委員として作品を審査した(沖縄県文化財保護審議会専門委員関連の会合は開かれなかった)。最低限の貢献はなし得たと思う。	
管理運営	0.05	共同研究推進委員会委員および図書紀要委員(学部)を務める。		0.10	共同研究推進委員会委員および図書紀要委員(学部)を務めた。その他、前期入試の個別学力検査の問題検討委員を務めた。課せられた職務を果たしたと思う。	
進路指導	0.10	「自然環境科学教育コース」1年生の指導教員として進路相談に当たる。		0.15	「自然環境科学教育コース」1年生の指導教員として、合宿研修などの機会も含め、学生生活や進路上の相談に当たった。課せられた職務を果たしたと思う。	
	0.00			0.00		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		照屋 俊明	所 属		教育学部 生涯教育課程	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.25	化学の講義では講義に関する小テストを定期的に行い、理解度を深める。また分子模型補助教材として用い、有機化合物の三次元構造をより深く理解できるよう試みる。また学生実験では高校の教科書に出てくるような実験テーマを設定し、講義での内容と実験を関連させる。			0.25	講義においては小テストを定期的に行ったところ、問題を解くことによって理解が深まったという意見があった。また学生実験ではヨウ素デンプン反応を行ったところ、ヨウ素デンプン反応の色の変化が教科書とは少し異なるなどの意見があった。教科書の写真と実際の実験での色の違いを観察できたと考えられる。		
研究	0.40	沖縄県本部町で採集したカイメンが抗菌活性を示すことが明らかとなったので、抗菌活性を指標に化合物の探索を行う。			0.40	沖縄県本部町で採集したカイメンから菌活性を有する化合物を3種類単離した。今後はこれら化合物の構造式を明らかにする予定である。		
社会 貢献	0.10	沖縄県本部町で採集したカイメンの抗菌活性物質を明らかにすることで、沖縄県の未利用海洋資源の付加価値を高めることが出来ると考えられる。			0.10	沖縄県本部町で採集したカイメンから抗菌活性を示す化合物を3種類単離したことによって、沖縄の未利用資源の付加価値を高める事が出来たと考えられる。		
管理 運営	0.10	理科教育コース、自然環境科学教育コースの教育委員(生涯教育課程部会長)としての職務を遂行する。また選挙管理委員長としての職務を遂行する。			0.10	理科教育コース、自然環境科学教育コースの教育委員としての職務を遂行した。また教育委員では生涯教育課程の部会長を務めた。また選挙管理委員長としての職務を遂行した。		
進路 指導	0.15	修士課程に進学した学生1名、4年生3名と密にディスカッションし、学生の希望、目標などを把握し本人の希望に沿った進路に進むことが出来るよう適時助言する。			0.15	研究室に配属されている修士課程二年次の指導を行った。研究については毎朝その日に行う実験のミーティングを行い、週1回金曜日に報告会を行った。修士の学生は2年次に進学し、4年生は2人が進学し、1人が中学教員として採用されることになった。		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		富永 篤	所 属	教育学部 生涯教育課程	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.30	学生が社会にでて必要とされる資質を見きわめ、それを伸ばす上でふさわしい講義、実習を行う。講義、実験は学生ができるだけ面白く感じられる、わかりやすい授業になるよう心がける。		0.30	教育学部の学生(卒業生)に必要とされる知識、実験スキルに重点をおき、講義、学生実験を行った。卒業研究、修士課程の大学院生の研究では本人の意向に沿った形で研究テーマである程度の成果が得られ、一部成果を学術雑誌に投稿、学会発表を経験させることが出来た。本年の目標は達成したと考える。	
研究	0.45	両生類の系統分類、遺伝的多様性、生活史に関する研究について学術論文1報の発表を目標とし、学会での発表を行う。本年度採択となった科研費の研究課題の成果発表を心がける。		0.40	国際誌1報、国内雑誌4報で成果を公表した。科研費の研究課題も順調に進んでいる。本年の目標は達成したと考える。	
社会貢献	0.10	環境教育活動、自然環境の保全活動へ積極的に参加、関与する。特に外来種対策に貢献する。		0.10	外来種対策、小学校での教員向け講習、所属学会の運営(会計監査、庶務、雑誌の編集補助)等をおこなった。	
管理運営	0.10	担当する学内、全学の委員会への会議にできるだけ出席し、委員会の運営のために尽力する。		0.05	学内の遺伝子組み換え実験委員会委員、学部内の入試委員として貢献した。本年の目標は達成したと考える。	
進路指導	0.05	本年度は、修士課程、学部の研究室の学生が多く、卒業を迎える予定であるので、学生の就職、進学支援のために尽力する。		0.15	研究室所属学生の就職支援のための相談、情報提供を行ったが、成果はいまひとつであった。3年生の年次指導教員として、進路の相談、アドバイスを行った。	
	0.00			0.00		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)							
名 前		森山 克子		所 属	教育学部 生涯教育課程	職 名	講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.35	<ul style="list-style-type: none"> ・「栄養教諭論」「栄養教育実習」を学校現場と調整し実施する。 ・「校外実習」の給食現場を選定して調整して実施する。 ・授業終了時間5分前に授業のふりかえり評価を実施する。 		0.35	<ul style="list-style-type: none"> ・「栄養教育実習」学校現場と細やかに調整してそれぞれの学生にあった指導をおこなった。 ・「校外実習」は学生の自宅から通えて指導能力の高い指導者が勤務する調理場を選定しているよう調整し依頼でした。 ・授業終了後のふりかえり評価を実施した。 		
研究	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・附属小学校との連携による共同研究 ・海を活かした教育に関する実践研究(外部資金) 		0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・附属小学校との連携による共同研究「指導方法の検討」を実施した。 ・海を活かした教育に関する実践研究「海に関する食品を使用した調理実習」の実践研究と実施した。 		
社会貢献	0.15	<ul style="list-style-type: none"> ・大学公開講座「栄養教諭と教諭のための食育を考える講座」、「3」歳児子どもシェフクラブ」の実施 ・沖縄県スポーツ振興審議会委員 ・公益法人沖縄県学校給食会評議員 ・沖縄県食品安全安心懇話会委員 宜野湾市食育推進会議委員 ・附属小学校健康教育研究部の研究授業の助言者 ・栄養教諭、学校栄養職員の初任者研修会講師 ・教職員経験者研修講師 ・栄養教諭認定講習講師 		0.15	<ul style="list-style-type: none"> ・大学公開講座「栄養教諭と教諭のための食育を考える講座」の実施した。 ・沖縄県スポーツ振興審議会委員 ・公益法人沖縄県学校給食会評議員 ・附属小学校健康教育研究部の研究授業の助言者 ・栄養教諭、学校栄養職員の初任者研修会講師 ・教職員経験者研修講師 ・栄養教諭認定講習講師として貢献した。 		
管理運営	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習委員として介護体験等の指導、当該施設へ訪問等 ・教育実習委員として支援と指導を行う 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習委員として介護体験等の指導、当該施設へ訪問等を行った。 ・教育実習委員として支援と指導を行う 		
進路指導	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導のための個別面談指導 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導のための個別面談指導のために、学生の希望職種の方から学ぶ機会をもち進路を行った。 		
	0.00			0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)						
名前	服部 洋一		所属	教育学部 学校教育教員養成課程音楽教育専修	職名	教授
領域	業務ウエイト比(予定)	平成25年度 年度目標設定		業務ウエイト比(実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.30	<p>①コメント・カードや受講ノート等によって学生からの積極的な意見聴取に努める。学生より得られた感想・意見を考慮し授業の改善(設備の充実も含めて)に努める。②オフィス・アワーに関しては学生からの要望がある時にその都度こまめに設定し、学習相談に大いに役立てることとする。③自己の専門分野における研究もしくは学際的分野における経験によって得られた事柄を実際の授業においても積極的に取り入れる。④大学院生を積極的にTAとして用い、もしくは外部専門家を非常勤としてTAとして登用し、意見交換・協働作業・助言をとおしてたがいの教育能力の資質向上に努める。⑤FD授業開催や修学旅行生への授業提供、FD授業への参加などを年度内最低1回の達成。⑥バイリンガル授業(前期2コマ、後期1コマ)を継続し、実技面で困難に感じていることはないかを常にチェックし、彼らの練習楽器と練習場所を好意的に確保する。⑦自己の所属する専修の学生への教育指導ばかりでなく、心理臨床科学コースの協力教員として学生の教育、フィールド実習指導、論文指導に協力する。</p>		0.30	<p>①の内容を実行し、また設備改善のために音楽棟の教育設備改善のためにマスタープランに応募する書類作成と申請を行った。②を実行し、学生からは修学や就職、将来の展望に関する相談を多く受け、アドヴァイスを行った。③に関しては日常の授業・レッスンにおいて大いに活用した。④今年度は自己のゼミ大学院生が休学中のため、院生のTA以来は行えなかったが、外部講師を学部共通科目授業に招き、協働して授業を勧め学生の指導に当たった。⑤の内容に直接は関係しないが、協力教員として授業参加を行い、授業中に意見を求められたときは発言した。⑥及び⑦を実行した。</p>	
研究	0.50	<p>①年度内最低1回の学会誌もしくは高等教育機関の紀要等への投稿。②年度内最低1回以上の研究発表(リサイタルまたはジョイントコンサート)を外部ホールにおいて行う。③自らの専門分野の研究(研究の成果を応用する教育活動も含む)の意義を外部に対して発信し、理解を得るとともに外部資金獲得に積極的に行動する。④本学法文学部国際言語文化学科2年次の英語劇ミュージカル指導をとおして国際言語学科所属教員と共同研究(分担指導作業)をおこなう。⑤毎年行っている「琉大ミュージカル」の授業の成果発表(8月)、音楽科の成果発表としての「音楽科発表会」(3月)においてパンフレット掲載のスポンサー広告掲載費を外部資金として獲得し、それぞれの発表会の運営費に充てていく。これらのチケット収入に関しては、大学へプロジェクト寄付金として一端預け、翌年のそれぞれの運営経費に充てていく。</p>		0.50	<p>①に関しては、現在執筆途中となっているが、②に関しては平成25年11月に沖縄と東京で、音楽教育専修教授森まゆみ氏と、二人が専門とするスペイン音楽のジョイントコンサートを行った。③に関しては、②のコンサート開催のためにスポンサー協力を仰ぎ3社から協賛を得られコンサートの必要経費の一部宛てた。兼任校において研究発表会を行い(平成25年12月東京音楽大学「スタジオ」)外部からの聴衆も多数動員して研究成果の発信を行った。④平成25年度の英語劇を3月30日に行い、これに向かうプロセスの中で、英語劇キャストに対する歌唱指導・演技指導、オーケストラメンバーに対する実技指導を行った。またイベント開催と運営に関するアドヴァイスも行った。⑤琉大ミュージカル成果発表を8月4日、うるま市石川会館で、また音楽科発表会を3月6日、浦添市でだこ大ホールで行い、必要経費獲得のために多くの外部資金をうることができた。今年度は双方とも収入と支出のバランスがよく、特段の余剰金が出ていないため、学生中心者とも協議の上、大学への寄付は来年度に繰延とした。</p>	
社会貢献	0.10	<p>①コンクールの審査等を通して、学外の音楽文化振興団体の主催する審議会に参画する。②専門分野における資料収集のため学外(海外を含む)への研究調査を積極的に行う。③小・中・高等学校からの依頼に応じて、専門分野の技術・理念を分かち合うワークショップ・後援会等を行う。④地域(海外を含む)における生涯学習的音楽活動に対し歌唱法・演奏法指導にも携わる。⑤国際貢献に関しては④に準ずる。⑥地域貢献に関しては③に準ずる。⑦所属専修(心理臨床科学)に関わるテーマに関して学外者・産業界関係者等より依頼があれば、カウンセリング等を行う。⑧本務に圧迫を与えない限りにおいて、兼任先(東京藝術大学、東京音楽大学、等)における教育活動を積極的に支援し、研究発表活動などの企画も行う。⑨二期会、東京室内歌劇場などプロフェッショナル・オペラ・プロデュース団体に所属する歌手たちの指導、音楽会の監修を行う。</p>		0.10	<p>①毎日学生音楽コンクール九州大会の予選及び本選の審査、東京国際声楽コンクールの沖縄地区大会審査等を務めた。②アジアの青年たちのクラシック音楽活動及び学習の実態調査及び資料収集のため、台湾への選航調査を行った。③附属小学校合唱祭へ向けての教員への指揮指導講習会講師を務めた。小塚中学校合唱部への発生指導、スペイン語歌詞指導、音楽作りの指導を4回にわたって行った。④東京出張の折に東京都江戸川区のシニア・コース「心の故郷会」への合唱指導を行い、江戸川区南小岩コミュニティセンターにおける発表会において指揮を務めた。⑤の国際貢献に関しては②に同じ。⑥に関しては④に準ずる。⑦依存症、対人恐怖症、抑うつ症に悩む複数のクライアントへのカウンセリングをおこなった。⑧に関しては、前項目の②に記した。もう一校の兼任校である東京藝術大学の研究発表会は2月16日に予定していたが、雪のため順延となり、平成26年度6月1日に開催する予定である。⑨二期会スペイン音楽研究会講師を務め、毎月第3日曜日の例会において公開レッスン形式の実技指導講師を務めた。</p>	
管理運営	0.05	<p>①全学的委員会及び学部内の委員に選出された場合は、責任を持って役職を遂行する。可能な限り会議に出席し、内容を所属専修に伝達報告し、協議事項を会議に提出し、回答を委員会へ持ち帰るよう責務を遂行する。②大学院教員組織(音楽教育専修)上の務めを果たし、音楽棟の安全・資産管理、予算の発案管理に積極的に参与する。③入試業務における役割分担を責任を持って遂行する。</p>		0.05	<p>①を実行した。②平成25年度は音楽教育専修の主任を務めた。また当専修教員採用においては選考委員会委員長を務めた。当専修の予算案作りを行い、決算報告も行う予定である。音楽棟の利用(特に201室と103室の利用)を同僚の岡田恵美氏と協力して管理した。③平成26年度センター入試の警備を行い、推薦II、前・後期入試では試験監督を行った。音楽教育先選では実技及び面接の採点委員長を務めた。</p>	
進路指導	0.01	<p>①年次別懇談会での呼びかけや担任年次(2年次)の年次長との連絡を密にし、インターン</p>		0.04	<p>①及び②を実行した。</p>	
	0.04	<p>①現在行っている脳幹障害患者施設等への音楽療法的介入を継続し、機能回復等の診</p>		0.01	<p>①同僚の崎山弥生氏とともに北中城若松病院代3病棟におけるベッドサイド・セラピーにセラピストとして数回参加した。</p>	
計	1.00	<p>・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠を広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</p>		1.00	<p>・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</p>	

※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。

学外公表に同意しない。 学内公表に同意しない。

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		金城 昇		所 属	教育学部 生涯教育課程		職 名	教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果			
教育	0.15	ひきつづきライフスキル教育を基礎とした新たな健康教育プログラム開発と実践を進める。学校・地域健康教育を広げるためライフスキル教育を基礎とした健康教育をJICA海外研修プログラムへ貢献する。研究会を主催するとともに、ワークショップを開催する。			0.15	ライフスキル教育を基礎とした健康教育プログラムを元に養護教諭, 栄養教諭等の研修を進めた。学校・地域健康教育を広げるためライフスキル教育を基礎とした健康教育をJICA海外研修プログラムに活用した。研究会・ワークショップを開催した。			
研究	0.15	恩納村(地域健康教育), 宜野湾市・読谷村(介護予防事業)の受託研究をひきつづき進め報告書としてまとめる(受託研究費総額約2100万円)。来年度日本健康心理学会の沖縄開催の準備をする。沖縄県一括交付金事業健康行動実証モデル事業を推進する。			0.10	恩納村(地域健康教育), 宜野湾市・読谷村(介護予防事業)の受託研究を受けるとともに市町村民の健康づくり事業を推進した(各報告書参照)。2014年11月1・2日開催予定の日本健康心理学会沖縄大会委員長としての準備にあたった。沖縄県一括交付金事業健康行動実証モデル事業を推進中(12市町村と連携)。			
社会 貢献	0.15	健康おきなわ21策定栄養・運動部会長として貢献する。ひきつづき西原町・うるま市・南城市健康づくり推進会議委員, 宜野湾市国保運営協議会会長, 地域密着型サービス運営委員としてつとめる。JICAアフリカ, 中南米地域母子保健強化コース講師として協力する。			0.10	健康おきなわ21策定栄養・運動部会長として策定にあたった。西原町・うるま市・南城市健康づくり推進会議委員, 宜野湾市国保運営協議会会長, 地域密着型サービス運営委員として貢献した。JICAアフリカ, 中南米地域母子保健強化コース講師として各国指導者の養成にあたった。			
管理 運営	0.40	生涯教育課程長(副学部長)として課程運営に学部長を補佐する。学生生活委員長として学生生活全般の支援と指導にあたる。発達支援教育実践センターの運営にあたる。			0.55	生涯教育課程長(副学部長)として課程運営や学部・附属学校の運営に関して学部長を補佐した。学生生活委員会委員長として学生生活全般の支援と指導にあたった。また発達支援教育実践センターの運営を通して地域に貢献した。			
進路 指導	0.15	コース・ゼミ学生の進路指導や就職活動に努める。学部学生の就職活動等の指導にあたる。			0.10	コース・ゼミ学生の進路指導や就職活動に努めるとともに, 学部学生の就職活動等の指導及び斡旋にあたった。			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう, 記入してください。 ・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				